

西東京市駐車場事業経営戦略 <概要版>

経営戦略の策定目的

人口減少や施設老朽化等、地方公営企業の経営環境が厳しさを増す中で、安定的な経営を行うためには事業意義や必要性の検証、採算性の確認、民営化や民間譲渡の検討など経営管理が必要
⇒**計画的な経営を推進するため、持続可能な経営戦略を策定し、計画的に経営管理する。**

1. 事業概要（施設名：アスタ市営駐車場）

【概要】

- 【事業開始】平成7年3月(建設後26年経過)
- 【収容台数】295台
- 【営業時間】24時間(入庫可能時間:9時~22時・出庫可能時間9時~23時)
- 【料金形態】9時~23時:200円/30分
23時~(翌日)9時:1,000円/回

【現在の経営状況(令和元年度決算)等】

- ・本駐車場は、田無駅に隣接し、生活必需品を扱う商業施設の地下に立地
- ・商業施設において、アスタ市営駐車場の無料サービスを提供
⇒**駐車場使用料収入の約90%が、商業施設内店舗からの収入である。**
- ・歳入総額は約1.4億円で、歳入総額の99%以上は駐車場使用料収入
- ・歳出総額は約1.3億円で、実質収支(歳入総額-歳出総額)は約0.1億円
- ・収益的収支比率は、109.2%(黒字経営)

2. 将来の事業環境

【駐車場需要の見通し】

- ・立地環境より、西東京市民及び近隣市の市民による需要は、今後も一定程度存在
⇒**利用台数は年間約30万台、駐車場使用料収入は約1.1億円**で推移と想定

【機械式駐車施設の大規模改修による影響】

- ・既設の機械式駐車施設は、令和8年度に大規模改修を実施予定
- ・大規模改修に伴い駐車場区域の一部閉鎖を行う必要があるため、令和8年度のみ利用台数及び駐車場使用料収入の30%減少を想定

3. 経営の基本方針

田無駅周辺の利用者や近隣商業施設の駐車場需要を支えるとともに、周辺道路交通の円滑化を促進するため、今後も安定継続した運営を行えるように断続的な収支状況の改善と利便性の向上に努める。

4. 投資・財政計画

【投資に関すること(機械式駐車施設の大規模改修)】

- ・大規模改修工事費を約2.4億円、大規模改修に伴う駐車場使用料収入は約0.3億円減を想定
⇒**改修費用と減収補填分の不足分について、駐車場基金を取崩すことで対応する予定**

基金残高(令和3年度以降は見込み)

(単位:円)

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
基金積立額	15,693,988	3,029,977	18,202,609	5,313,000	7,922,000	7,922,000
基金残高	235,231,632	238,261,609	256,464,218	261,777,218	269,699,218	277,621,218

年 度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
基金積立額	7,922,000	4,000	1,000	7,919,000	7,919,000	7,919,000
基金取崩額		258,064,000				
基金残高	285,543,218	27,483,218	27,484,218	35,403,218	43,322,218	51,241,218

【財源に関すること(収益的収支比率105%以上の継続)】

- ・将来にわたり、安定した経営を行えるように、運営管理業務に係る委託内容の精査を行うなど、経費削減に向けた取組みを強化していくことで、収益的収支比率105%以上の継続を図り、従前どおり、一般会計からの繰入れに依存しない安定的な経営と毎年度駐車場基金へ積立てが行える財務体制の構築を目指す。

5. 公営企業として実施する必要性

田無駅周辺の利用者や近隣商業施設の駐車場需要を支え、周辺道路の渋滞緩和等を図るとともに、駅周辺地域への来訪者の利便性を向上させ、駅周辺地域の活性化を図ることが可能なため。

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略策定後、3年に一度のタイミングで経営戦略の見直しを行う。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、計画と実績に大きな乖離が生じる場合は適宜計画の見直しを行う。